

長津川調節池公園の遊歩道が改修されます

1月30日、日本共産党本町支部が船橋市に、長津川調節池の遊歩道や展望台のひび割れと段差の解消について現状を聞き、さらなる対応を求めました。

海老川の支流である長津川の調節池は県管理ですが、市が遊歩道や展望台、遊具などを整備して、市民の憩いの場となっています。

ところが昨年6月に行われた日本共産党本町後援会の集いに参加した方から、「遊歩道がガタガタで危ない。何とかならないか」との要望が出されました。

これを受けて7月7日、現地調査を実施。遊歩道には大きな段差があり、展望台には亀裂が走り、土砂が崩れている場所もありました。

その後、7月9日に船橋市から状況を聞き取り、8月8日には県葛南土木事務所を訪問して現状を伝え、対策を要請しました。

こうした働きかけを受けて11月5日、県と市が合同で現地調査を行い、その後の対



船橋市に遊歩道の改修を要請する日本共産党本町支部の参加者と丸山慎一県議（正面左から2人目）、松崎佐智市議（その右）
11月30日・市役所内



大きなひび割れが生じて危険な長津川調節池の展望台
11月7日・長津川調節池

県・船橋・八千代両市が東葉高速への支援要請

JR「西船橋駅」と京成「勝田台駅」を結ぶ東葉高速鉄道の沿線にある船橋市と八千代市、県も加わった3者が1月30日、国土交通大臣にたいして「関係者が一体となった支援策の検討への一層の関与」「利払い負担に対する補助をはじめとした抜本的な支援」を求めました。

東葉高速鉄道は、県や両市が資本金の80%を保有する「第3セクター」ですが、建設費を借金でまかなったため、約3000億円の有利子負債を抱えて開業しました。その結果、運賃は極めて高く、ほぼ同じ区間を走っている京成電鉄の倍となっています。

その後、県や両市が2次にわたる財政支援を実施。最近では、利用者の増加や金利の低下などで財務状況が改善してきていますが、いまだに2600億円の長期債務を抱えているため、利率変動などで不安定な状況が続いています。

この背景に、国が有利子負債での建設を誘導したことや、地下鉄東西線が勝田台駅まで伸びる計画がとん挫したことなどがあり、日本共産党は国の責任で運賃を抜本的に引き下げよう求めてきました。

今回の県と両市の国への要請は、大すじで同じ方向を向いており、これからも様々な働きかけを進める必要があります。

応を協議しました。

今年度は、船橋市が遊歩道

2カ所を改修し、来年度は、さらに3カ所の改修をする予定です。また3カ所ある展望台については、亀裂がひどくなっている部分をアスファルトで補修し、崩れていて危険な部分は立ち入り禁止の措置をとる方向です。

野田で小学4年の女児が虐待の疑いで死亡 過去の教訓を活かさなかった県の責任は重大

1月24日、千葉県野田市の小学4年生、栗原心愛（みあ）さんが自宅の浴室で死亡しているのが発見され、父親の勇一郎容疑者が傷害容疑で逮捕されました。

今回の事件の最大の問題は、県柏児童相談所（児相）が父親の虐待を把握して、関与していたにもかかわらず命を救えなかったことです。

2017年11月、柏児相は父親が虐待していると判断して、心愛さんを両親から放して一時保護しました。ところが12月27日には一時保護を解除して親族宅に住むことを条件に帰してしまいました。その後、2カ月あまりで、親族宅から父親のいる自宅に移されてしまっています。

ほんとに一時保護を解除して良かったのか。実は千葉県では2014年にも児相が一時保護をしたのに安易に帰してしまい虐待死を招いた同様の事件がありました。このときの検証に背を向きました。

今回の野田市の事件では、こうした教訓がまったく活かされていませんでした。しかし森田知事は「家庭にどこまで踏み込めるか」などと責任を回避。「第三者委員会の議論を見ないと丸投げの態度で、県自身の検証に背を向きました。

2017年11月、柏児相は父親が虐待していると判断して、心愛さんを両親から放して一時保護しました。ところが12月27日には一時保護を解除して親族宅に住むことを条件に帰してしまいました。その後、2カ月あまりで、親族宅から父親のいる自宅に移されてしまっています。

〔野田・小学4年生女児虐待死事件の経緯〕

【2017年】 8月～9月	沖縄県から千葉県野田市に転居。一家が沖縄にいたころ、父親による妻へのDVを疑う情報があり、栗原心愛さんは「要支援児童」と市が判断。
11月 6日	小学校がアンケートで「父親からいじめられている」と把握。心愛さんは「父に背中や首、顔をたたかれる」と明かす。
7日	柏児童相談所が、ほほにあざがあり、父親から身体的虐待の疑いがあると判断して一時保護。
12月27日	柏児相が、「市や親族からサポートを得られ、安全に生活できる見込みがついた」と判断して一時保護を解除。親族宅に帰す。
【2018年】 1月12日	両親が、野田市教育委員会や小学校と面談。父親が「アンケートを見せろ」と要求。
15日	市教委が、娘が書いたとする同意の文書を両親から示され、アンケートのコピーを渡す。
3月上旬	親族宅から自宅に移る。
【2019年】 1月	7日の始業式以降、学校を欠席。父親は「沖縄にいたので休ませる。2月4日に登校する」と連絡。
24日	心愛さんの遺体発見。
25日	県警が、父親の勇一郎容疑者を傷害容疑で逮捕。